

ディボーション質問表

10日(日)先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

11日(月)サムエル記第二 2:18~32

1. ヨアブの兄弟、駿足のアサエルはアブネルを追い、死にました。彼はなぜアブネルを追いつづけたのでしょうか？
2. アブネルの提案によって講和が結ばれます。しかし、なぜすぐにそうしなかったのでしょうか？ またそうさせなかった人間の性質をあげてみましょう。

12日(火)サムエル記第二 3:1~29

1. アブネルはここで政治家としての働きをしますが、彼の人格はどうだったのでしょうか？ 長所と短所をあげてください。神は彼をどのように見ていると思いますか？
2. この7年半でダビデに6人の男の子が生まれます。アムノン、キルアブ、アブシャロム、アドニヤ、ツェファテヤ、イテレアムです。彼らはみな母親が違います。彼らは後にダビデの苦悩の種となります。一夫多妻の問題点は何だと思いますか？
3. ダビデの最初の妻ミカルは、のちの夫バルティエルから引き離され、連れ戻されます。ダビデはなぜ彼女を呼び戻したのでしょうか？ あなたならどうしますか？

13日(水)サムエル記第二 4:1~12

1. 2章からのイスラエルとユダのにらみ合いも終結に向かいました。だれが主導権を取るか、国の間の緊迫した中で事件が起こります。何が起こりましたか(5~8節)？
2. ダビデはこの事件にどのように対応しましたか(9~12節)？ 　いつ蹴り落とされるかわからない環境においても、神の価値観に生きているだろうか？ 4節のことがらを覚えておきましょう。

14日(木)サムエル記第二 5:1~25

- ダビデは何歳で統一王国の王になりましたか(4節)？ ここから新しい時代が来しました。それは主イエスキリストが王となる神の国の到来のひな型です。つまり12部族ゆえの神の契約ではなく、ひとりの王によって祝福の契約が結ばれる時代です。私たちも主イエスキリストが命をかけて天の父と永遠の契約を結んでくれたので神の子となり、祝福と永遠の保障を受けています。
1. 後に「ダビデの町」と呼ばれるシオンに住む人々は、その天然の要塞のゆえに、高慢になっていました。6節を読むとわかります。恵まれた環境にいるのなら、そのことで高慢になっていないだろうか？ すべて神様の恵みであることを忘れていないだろうか？ ダビデの戦い方から学びましょう。サウルが決して勝てなかった相手にダビデは勝利しました。いったいどのようにしてでしょう(17~25節)？ 8節のダビデの宮殿の決まりを覚えておきましょう。

15日(金)サムエル記第二 6:1~23

1. 1サムエル6章の出来事をおぼえていますか？ ダビデは異邦人がした通りの方法で契約の箱を自分の町に迎えようとしていました。どうなりましたか(1~11節)？ キリストを知らずに生きていたときはどうもなかったのに、クリスチャンになった途端に生活で困難をおぼえた経験はないだろうか？ キリストによって救われてからの人生の困難は、神のみ言葉を教わる祝福であることを知っているだろうか？ ふてくされずにダビデのように真理を発見し恵まれているだろうか？
2. 16節、サウルの娘ミカルはどのような態度を取りましたか？ ダビデはどうでしたか？ どちらを神様は喜ばれたのでしょうか(17~23節)？ わたしの礼拝生活はどうだろうか？ 神を畏れるのではなく、世間体やこの世の立場などに囚われて、真心からの礼拝ができていないことはないだろうか？

16日(土)サムエル記第二 7:1~29

- ダビデの玉座が治まります(詩篇132篇、イザヤ66章参照)。ナタンの預言から、私たちの神様はどのようなお方知りましょう(5~17節)。
1. ダビデの応答はどのようなものでしたか(18~29節)？ 彼の祈りから私たちの祈りの生活を豊かにするポイントを示してもらいましょう。